

# 森林における降水の移動

- 降水量 - (林内雨量 + 樹幹流量)

≡ 蒸発・蒸散量

≡ 樹冠遮断量

- 間伐の効果(仮説)

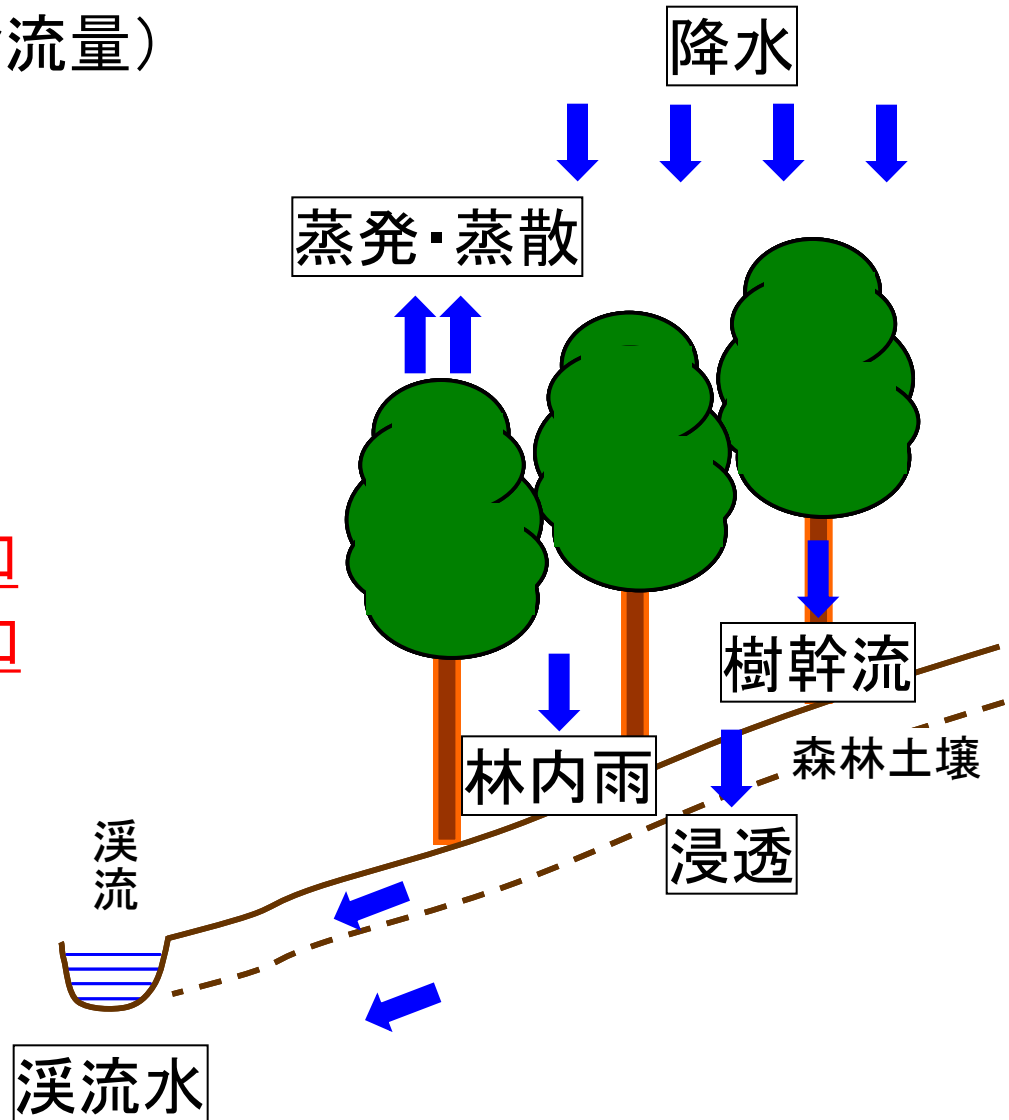
蒸・発散量が少なくなり、

① 林地に達する降雨が増加

② 森林からの流出量が増加

③ 流出量の平準化

(降水時の流量を抑える、  
無降水時の流量を減らさない)

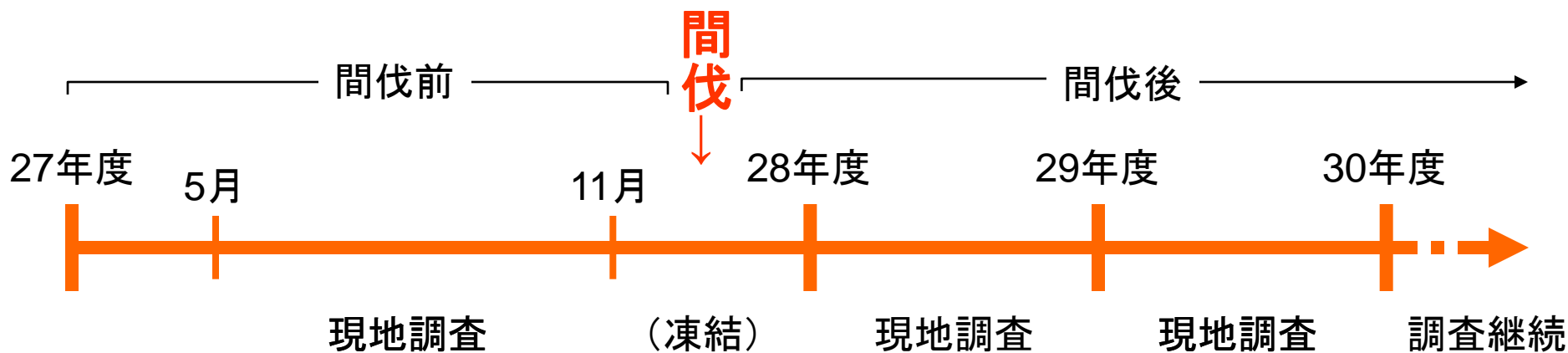


# 事業の目的

- 水源林の間伐により、水源かん養機能※がどう変化するのか
- 間伐前後の水収支(降水量に対する林内雨量や流出量、土壤水分量)の変化を長期モニタリングする

※河川へ流れ込む水量を平準化したり、流量を安定させる機能

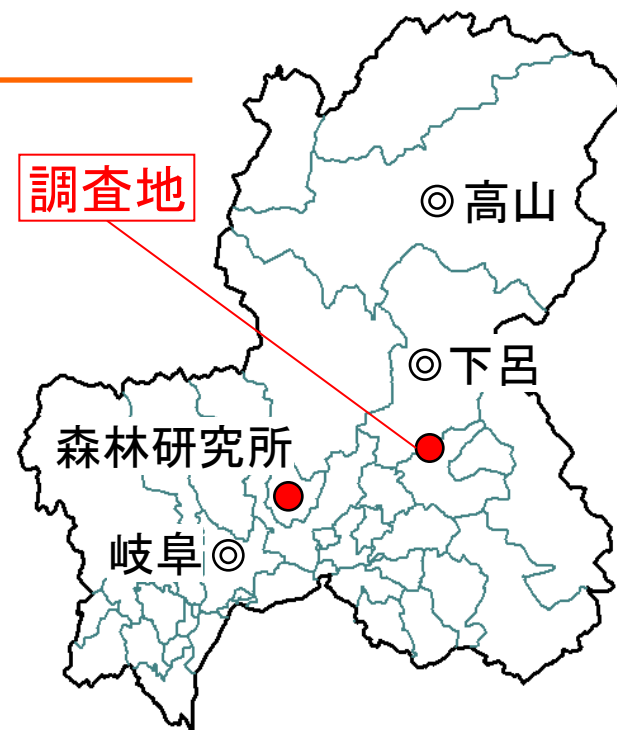
## ●スケジュール



# 調査の概要

調査地	岐阜県加茂郡白川町上佐見
標高	600~700m
地質	濃飛流紋岩
土壌	適潤性褐色森林土
調査区	50年生ヒノキ人工林
	樹高 18.5m 胸高直径 21.7cm
	林分密度 1500本/ha

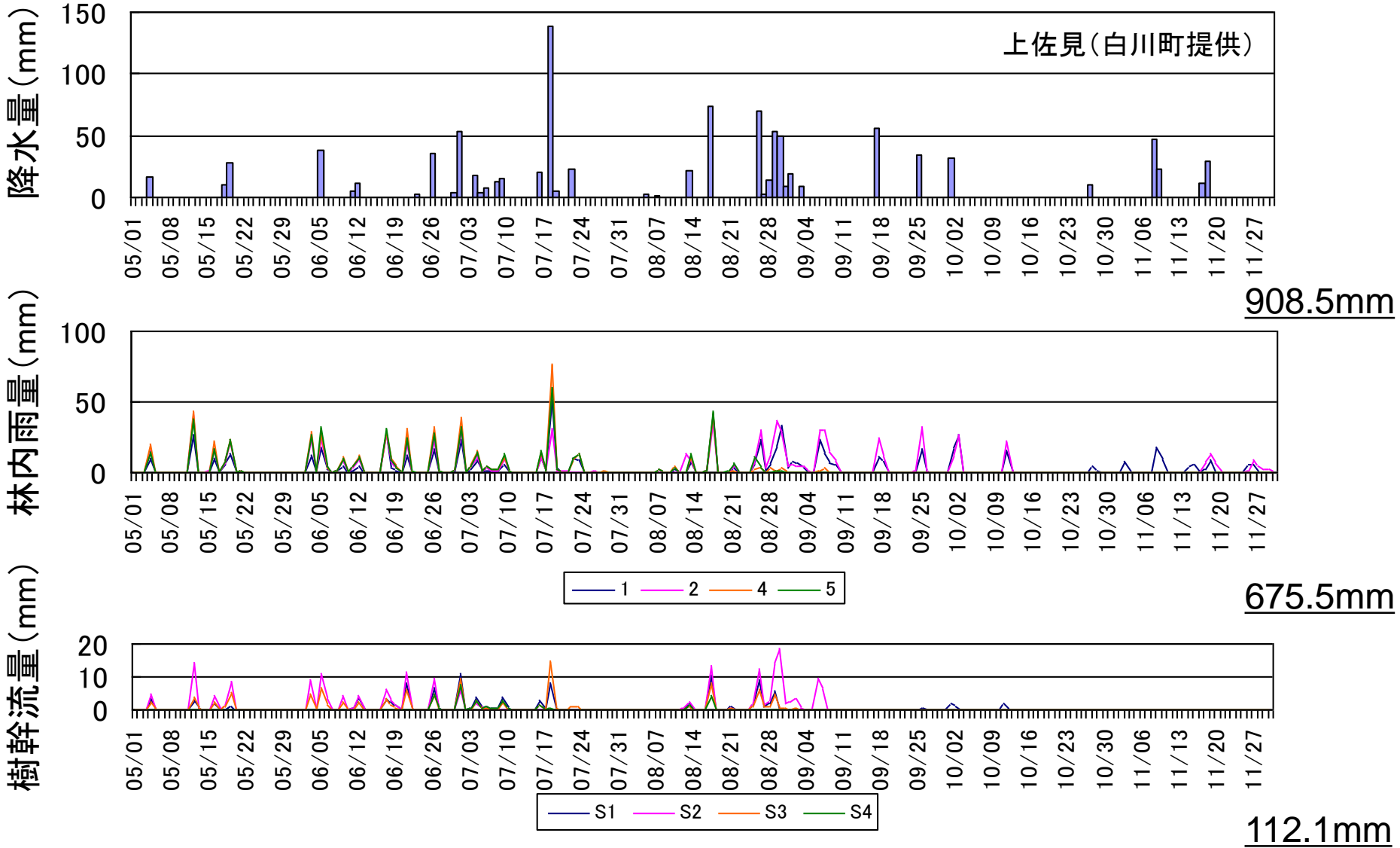
県下で最も普通



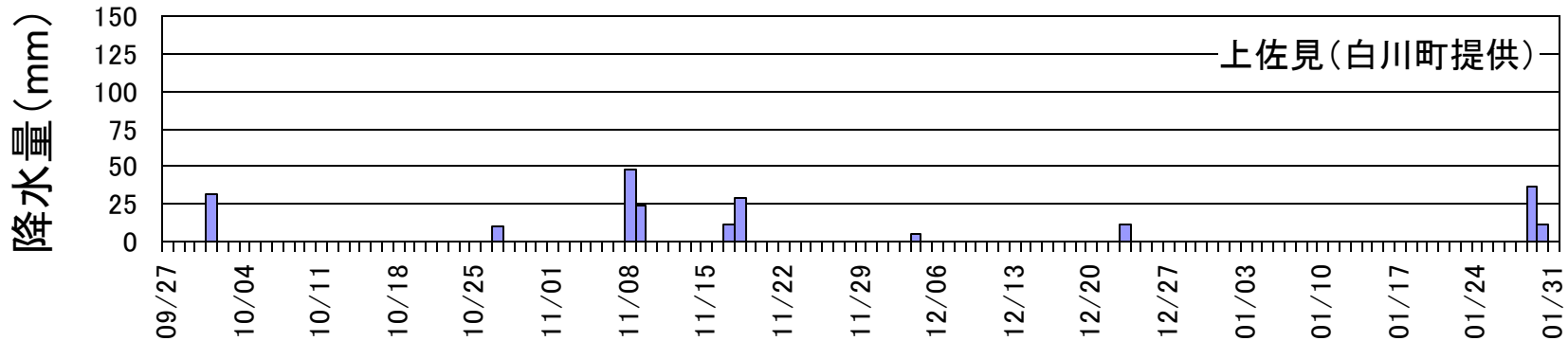
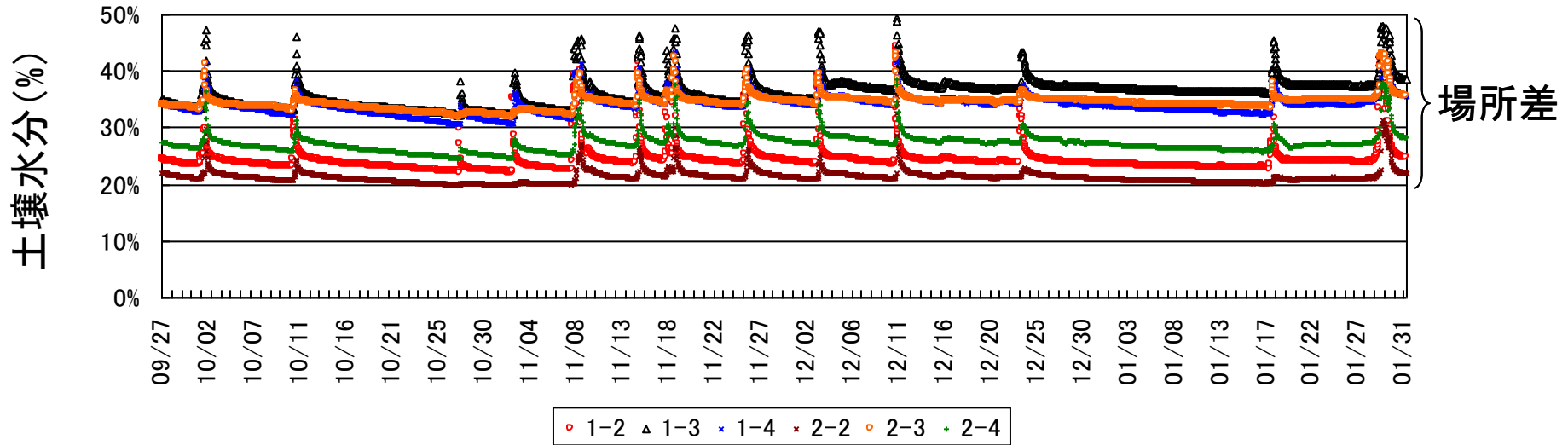
## 間伐が遅れたヒノキ過密林分

- 林外雨 転倒ます式雨量計 1基 (林外裸地)
- 林内雨 転倒ます式雨量計 15基 (間伐予定区)
- 樹幹流量 転倒ます式雨量計 15基 (間伐予定区)
- 土壌水分 土壌水分計 6基 (間伐予定区・対照区)
- 溪流の流量 量水堰+圧力センサー 2基 (間伐区・対照区)

# 降水量

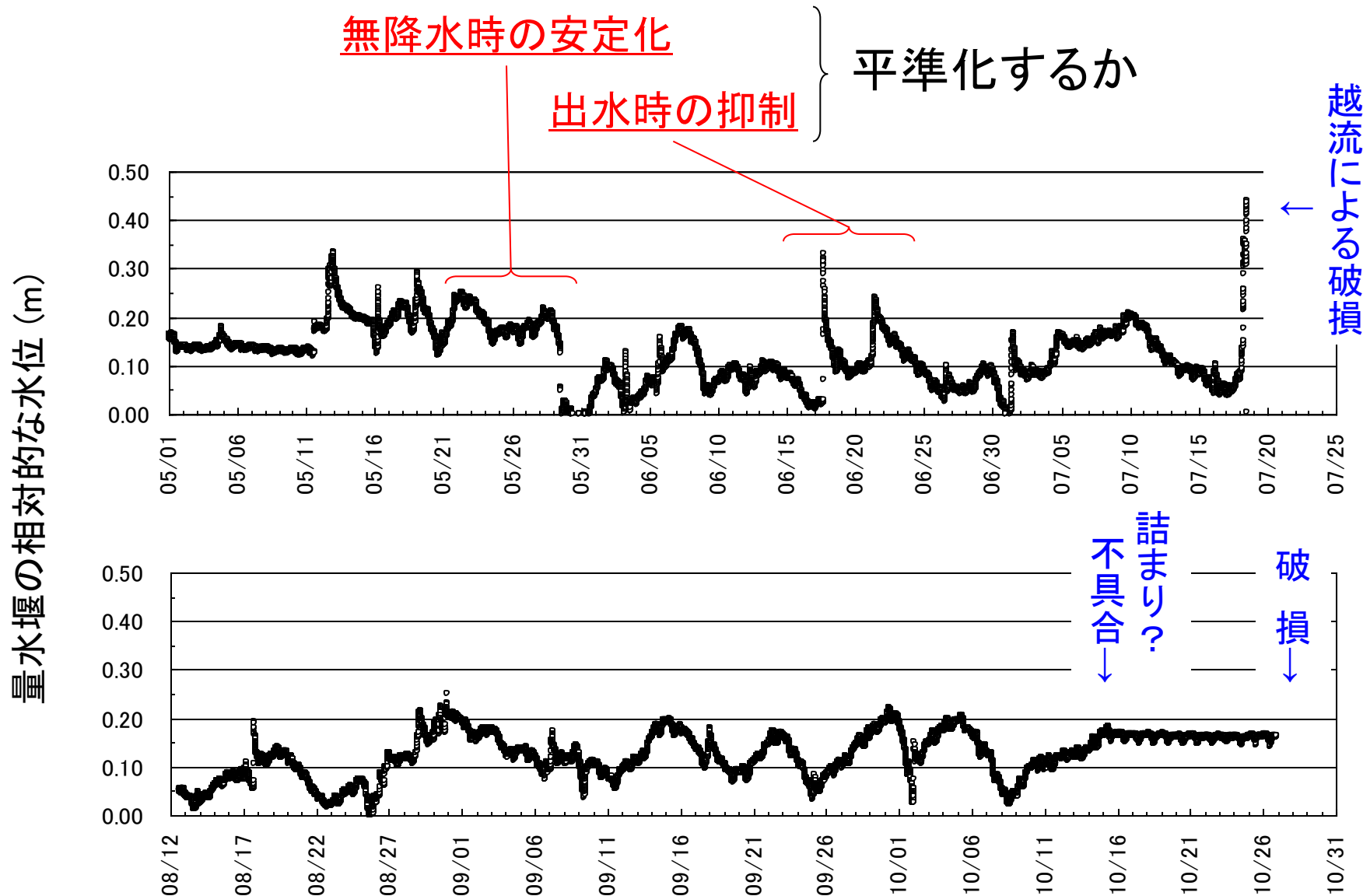


# 土壤水分



降水に対応して、土壤水分量が高まる  
平常時の水分量が間伐前後で変化？ 場所差を考慮しながら検証

# 流出水(間伐予定区)



量水堰の破損・計器の不具合 →仕様や測定方法を改良